

☆隊員さんの広場☆



旭中
森島 秀喜さん

五年前に退職した後、就職活動の経験から人材育成の大切さを痛感しました。そこで、地域の人材育成に関わることができればと思い、昨年四月からはげまし隊員として旭中の生徒の支援をほぼ一年続けて来ました。初めは暗中模索の状態でしたが、テスト前や夏休みと冬休みの励まし応援タイム等を通じて生徒と身近に接することができました。今後もこの活動を通じて生徒から元気を貰いながら、古びた脳を活性化して行きたいと思います。



はげまし隊に入って、早や一年を迎えようとしています。退職後は緊張感もなく、家庭菜園、趣味、地域のボランティア活動などをしていましたが、お話があり、現在、北方学園で小学5、6年生の算数の授業支援をさせていただいています。私自身、最初は小学校の算数だから大丈夫だろうという安易な気持ちでお引き受けしましたが、特に6年生の算数については、自宅で前もって教科書を開き、一通り目を通して授業に参加することにしています。妻から「いいじゃねけ、ボケ防止になって」と言われ「納得」しています。

先生方のとても親切で分かりやすい授業で、子ども達も日々理解を深めているようですが、やはり、数名の生徒がきちんと理解できていないところがあるようです。今後につながる大事な5、6年生の算数です。このような子ども達のために少しでも力になれるよう、微力ではありますが「はげまし」ていきたいと思っています。



北方学園小
橋倉 秀美さん

Tea Time ~ちよつといい話~



延岡市立北川中学校 校長
渡部 誠一郎

卒業式の季節になると、かつての教え子たちのことを思い出します。手がかかった生徒ほど忘れないものです。再会した教え子から、「先生の授業は面白かった。」「先生のおかげで、今があります。」なんてことを言われたら有頂天を通り越して、天狗になってしまいます。同窓会に呼ばれて、感謝の言葉をいただくと、涙が出てきて困るくらいです。かつてのやんちゃな子たちも、立派な大人になり、良いことしか言わない。さすがです。

数年前に、初めて受け持ったクラスの同窓会に出席しました。そこで、卒業して初めて再会した生徒が「俺、先生のことを嫌いだった！」と衝撃の告白。「えっ何かしたか？」とうろたえる私に、「タバコを吸った生徒がいたとき、先生は俺に、おまえは吸っとらんやろねと言ったとよ。ショックやった。」

返す言葉がありません。30年前のことを真顔で話す彼に心から謝りましたが、教師の言葉は重いなあとつくづく身に沁みました。

事務局長のひとこと ~今年度も充実した支援をありがとうございました~

各学校から*1、2年共に支援してほしい。*習熟度別編成して、全ての学級で支援してほしい。など、支援充実の要望があります。高い効果が出ているはげまし隊活動への評価の証だと思います。隊員の皆さん方のていねいで充実した支援の賜物だと感謝いたします。子どもたちの明るい未来のために支援を充実してまいりましょう。支援充実には隊員増が喫緊の課題です。友達を紹介してくださいれば事務局が説明会をし、入隊勧誘します。